

# 2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

2024年8月6日

 ユシロ化学工業株式会社

Standard Market | 5013

ユシロ化学工業株式会社は、2025年4月1日より、  
株式会社ユシロに社名変更いたします。

# 2025年3月期 第1四半期 決算業績概要

## 2025年3月期 第1四半期 連結業績概要

- 国内は主要得意先である自動車メーカーの減産の影響があったものの、海外では販売価格のUPや北米を筆頭に生産／販売が好調に推移し増収。
- 国内では原材料の価格上昇があったものの、海外では原材料価格を抑えられたこともあり増益。

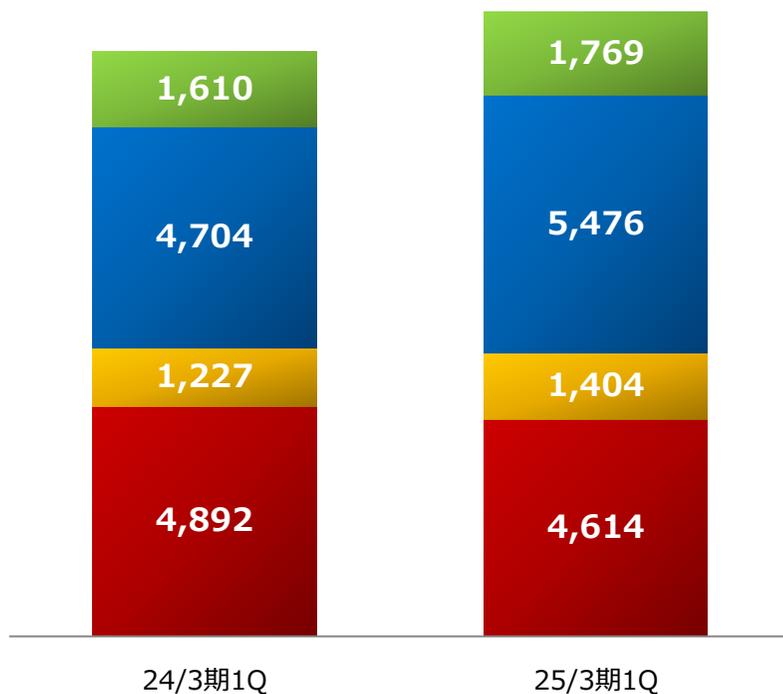
(百万円)	24/3期1Q	25/3期1Q	前期比	
			増減額	増減率
売上高	12,435	<b>13,264</b>	+ 829	+ 6.7%
営業利益	686	<b>1,124</b>	+ 437	+ 63.8%
経常利益	1,053	<b>1,643</b>	+ 589	+ 56.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	701	<b>1,422</b>	+ 721	+102.9%

## 2025年3月期 第1四半期 地域別売上高

- 国内：主要得意先である自動車メーカーの減産の影響があり減収。
- 海外：主要得意先である日系自動車メーカーでの生産回復により増収。

セグメント別売上高（百万円）

■ 日本 ■ 中国 ■ 南北アメリカ ■ 東南アジア/インド

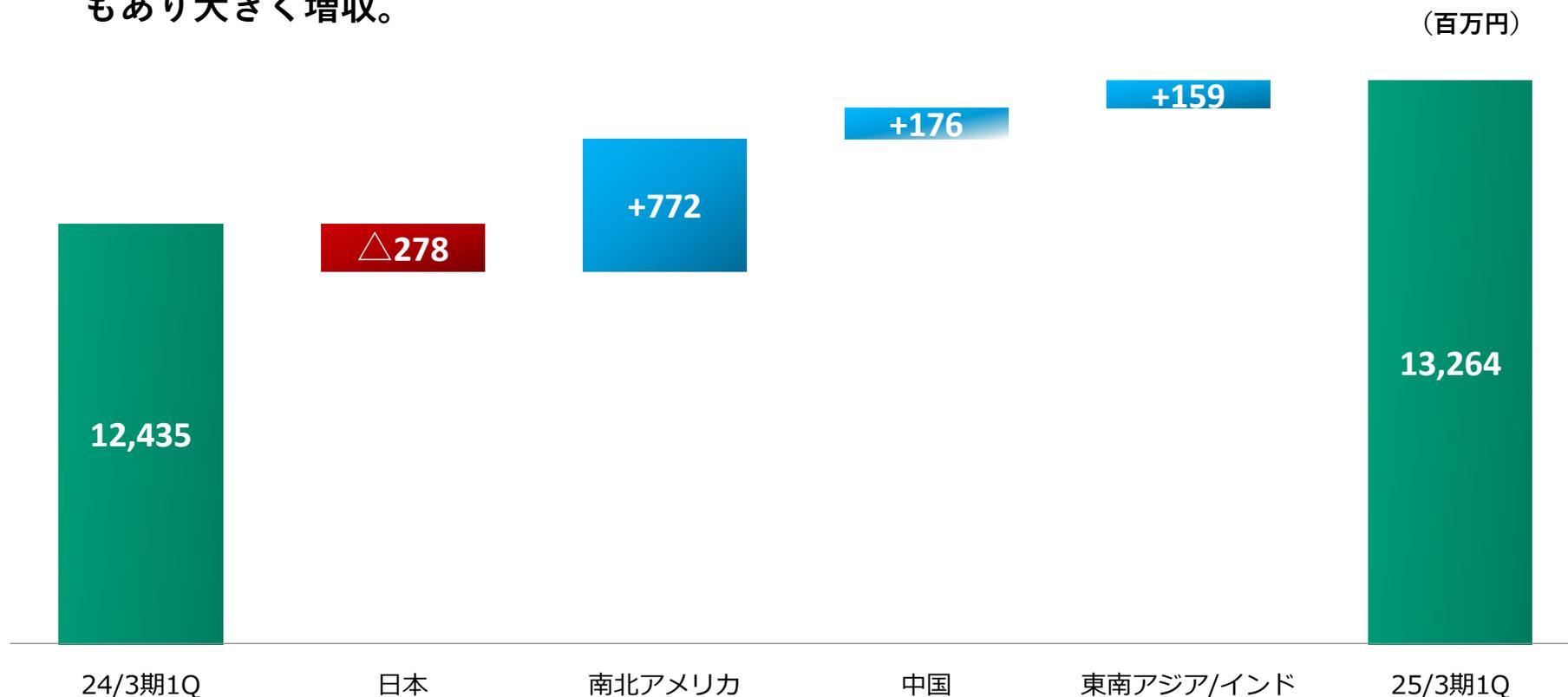


拠点別売上高（百万円）

拠点	24/3期1Q	25/3期1Q	増減率	
日本	5,381	5,192	△3.5%	
アメリカ	ユシロアメリカ	1,358	1,527	+12.5%
	クオリケム Inc.	2,503	2,848	+13.8%
メキシコ	469	636	+35.5%	
ブラジル	448	511	+14.0%	
中国	1,403	1,673	+19.3%	
タイ	555	607	+9.4%	
マレーシア	409	428	+4.6%	
インド	386	458	+18.9%	
インドネシア	398	457	+14.6%	

## 2025年3月期 第1四半期 セグメント別売上高増減

- 日本セグメントは、主要得意先である自動車メーカーの減産が影響し減収。
- 海外セグメントは、各国でバラつきはあるものの、日系自動車メーカーの生産台数回復をうけ増収。
- 南北アメリカセグメントは、業績好調なメキシコ・ユシロと円安による為替換算上の影響もあり大きく増収。

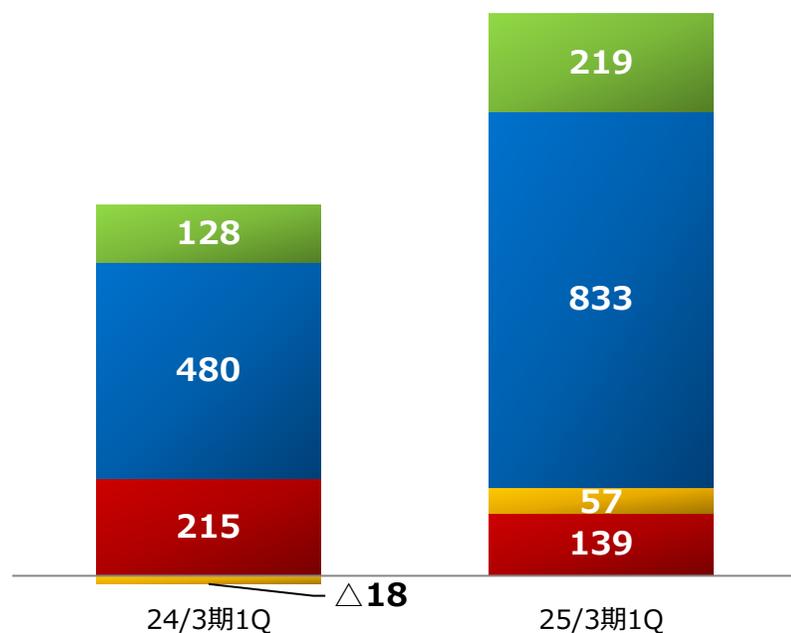


## 2025年3月期 第1四半期 地域別営業利益

- 国内：原材料価格の上昇があり、減収も影響して減益。
- 海外：原材料価格を抑えられたことで増益。

セグメント別営業利益（百万円）

■ 日本 ■ 中国 ■ 南北アメリカ ■ 東南アジア/インド

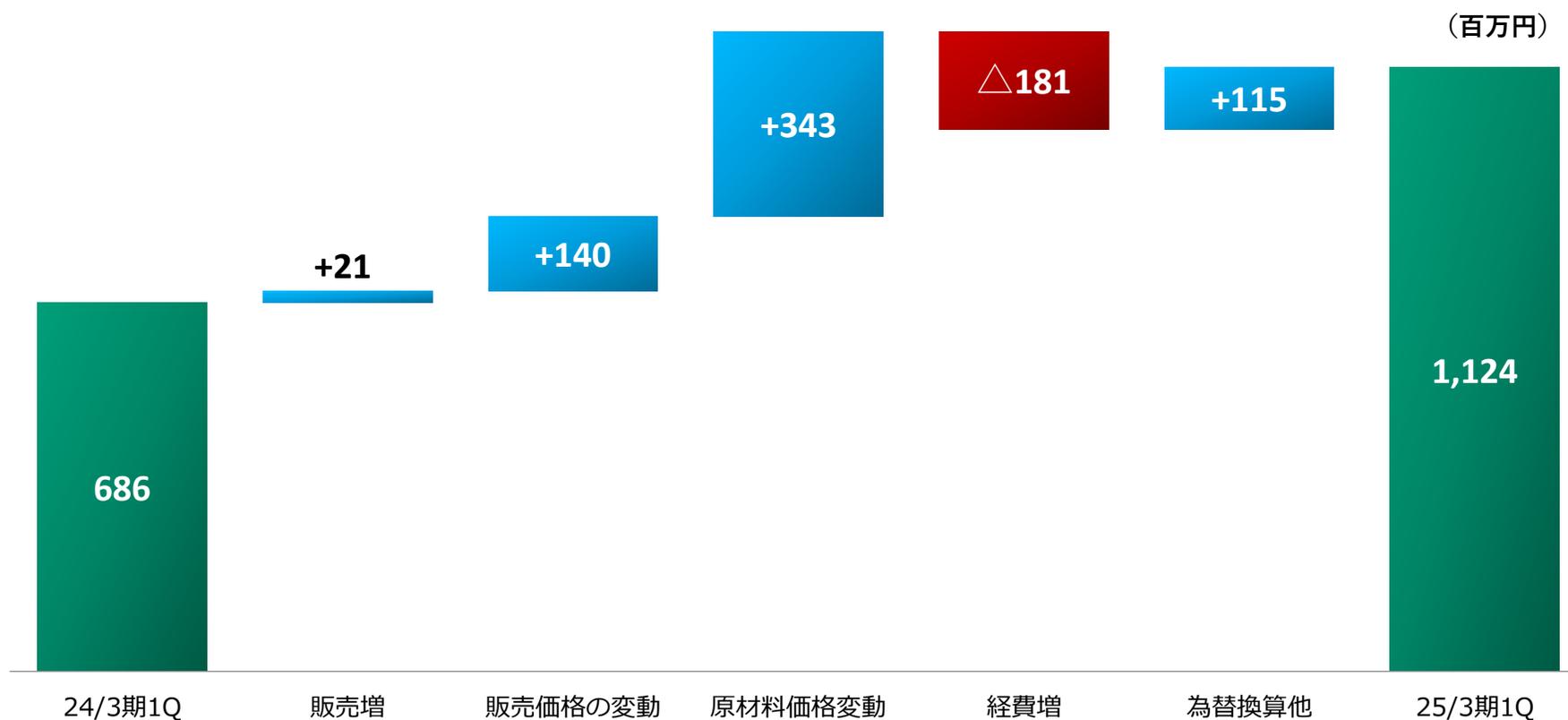


拠点別営業利益（百万円）

拠点	24/3期1Q	25/3期1Q	増減率	
日本	154	77	△49.6%	
アメリカ	ユシロアメリカ	146	239	+63.2%
	クオリケム Inc.	269	413	+53.2%
メキシコ	35	110	+215.4%	
ブラジル	58	96	+64.8%	
中国	△2	71	—	
タイ	61	88	+44.3%	
マレーシア	31	49	+56.4%	
インド	15	25	+60.6%	
インドネシア	40	83	+103.9%	

## 2025年3月期 第1四半期 営業利益増減要因分析

- 経費は増加したものの、原材料価格を抑えられ販売価格の上昇もあり増益。



# 2025年3月期 業績予想



## 2025年3月期の主な取り組み

1	原材料価格上昇への対応	<ul style="list-style-type: none"><li>• 原材料価格の上昇を捉えた適正な価格転嫁の実施</li><li>• サステナブルな原材料調達</li></ul>
2	金属加工油剤の販売拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>• 自動車業界隣接分野及び他市場への参入・拡大</li><li>• 航空機など非自動車分野への高付加価値製品の拡大</li><li>• 環境に優しい切削油剤、CO<sub>2</sub>削減に貢献する液切れ性の良い洗浄剤を展開</li></ul>
3	市場開拓	<ul style="list-style-type: none"><li>• CD誘導体の機能性添加剤としての販売先拡大と量産体制構築</li><li>• ヒカリアクション製品のラインアップ拡充</li><li>• 車両洗浄および床用ガラスコーティング剤の販売拡大</li></ul>
4	ESG戦略の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>• サステナビリティ推進委員会の取り組みによる推進</li><li>• ESG推進項目のKPI化と目標設定</li></ul>

## 2025年3月期 連結業績予想

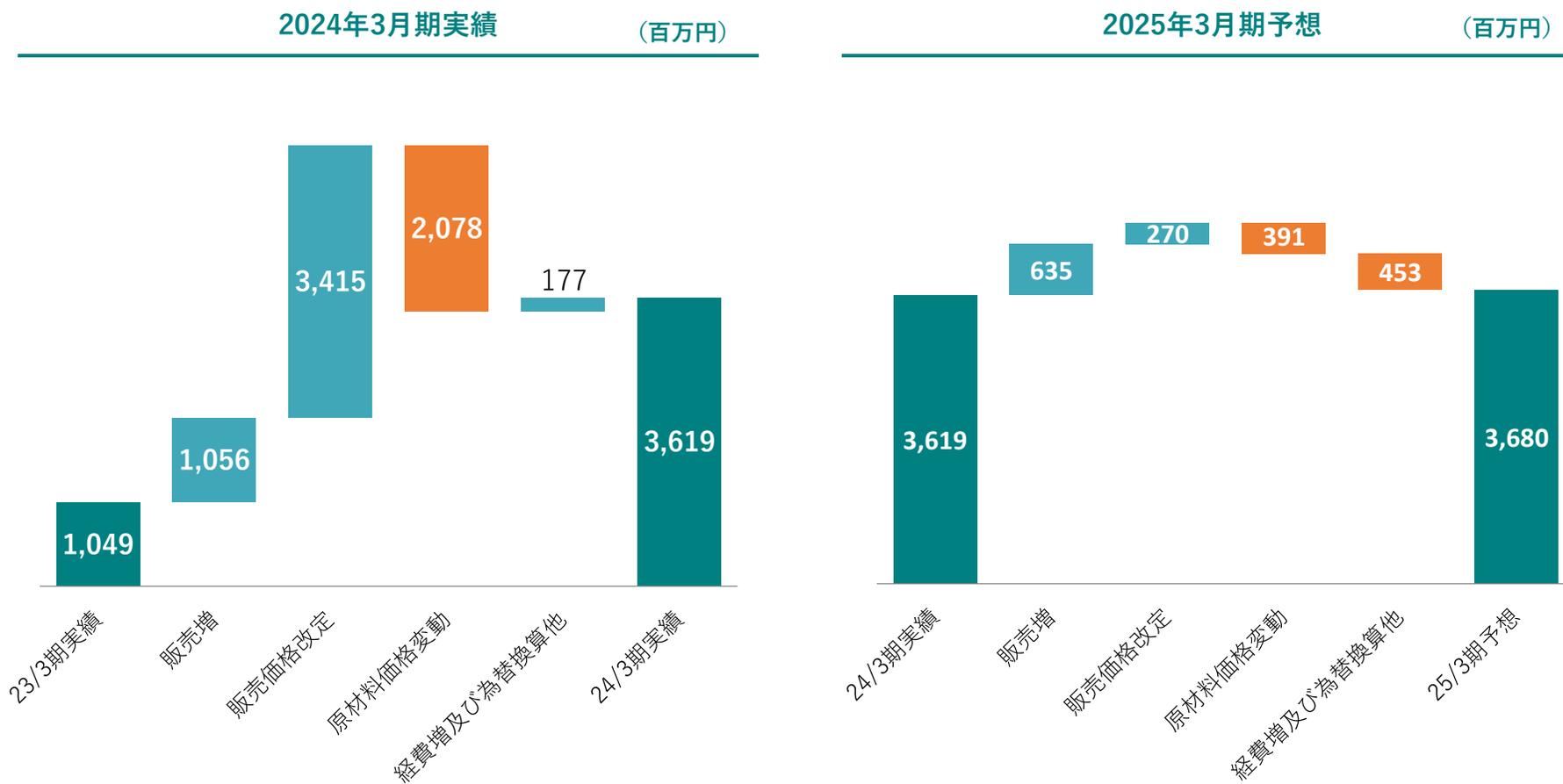
- 売上高は、北米地域の販売が牽引し増収を予想
- 利益面は、原材料価格の高止まり、人件費増の影響あるも、適正な価格転嫁によるマージンの改善により前期並みの利益を確保。なお、経常利益は、前期の為替差益の計上がなくなるためマイナス

(百万円)	24/3期実績	25/3期予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	52,985	55,500	+2,515	+4.7%
営業利益	3,619	3,680	+61	+1.7%
経常利益	4,628	4,340	▲288	▲6.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,010	3,100	+90	+3.0%
ROE	8.0%	7.5%	—	—

※2025年業績予想は145 ¥/\$

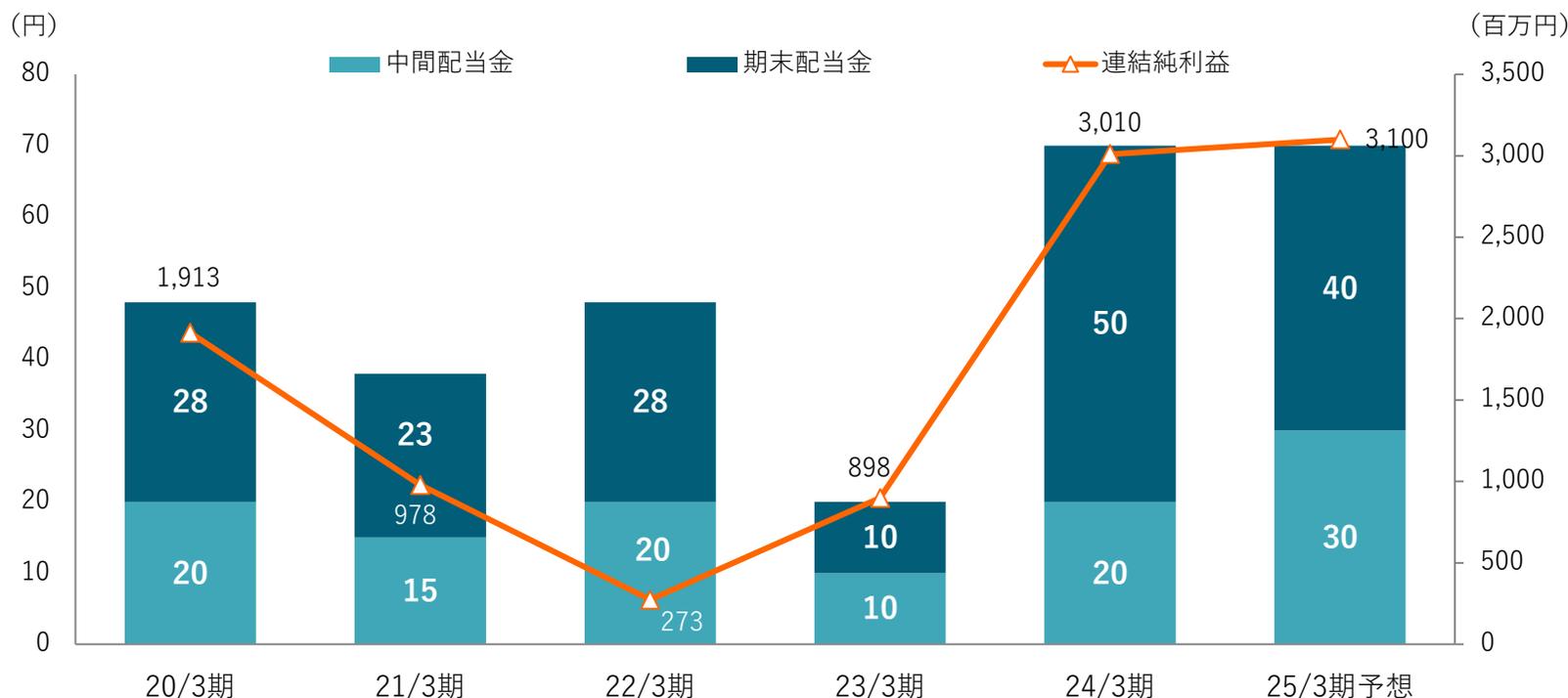
# 連結営業利益 増減要因分析

- 25/3期は、24/3期に引き続き粗利の確保により増益を想定



## 株主還元

- 連結配当性向を30%以上とし、投資とのバランスを考慮の上、安定的な配当を目指す



配当性向 (連結)	34.1%	52.8%	239.2%	30.3%	31.7%	<b>30.7%</b>
純資産配当率 (連結)	2.2%	1.7%	2.1%	0.8%	2.6%	—
1株当たり 配当金	48円	38円	48円	20円	70円	<b>70円</b>

## 当資料取扱い上の注意

当資料に記されたユシロの現在の計画・見通し・戦略等のうち歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたユシロの経営者の判断に基づいた、将来の業績に対する見通しであります。従いまして、これら業績の見通しのみにより全面的に依拠されることは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を与え得るリスクや不確定な要素には、以下のものが含まれます。

- ①ユシログループの事業環境を取り巻く世界情勢
- ②世界の原油価格動向
- ③米ドルを中心とした為替レートの変動
- ④偶発事象 等

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確定な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでユシロをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。

